



議会だより

2011

No. 86

題字は大分小6年 ^{むろや}室屋 みゆき さんです

平成23年10月28日(年4回発行)

発行: 大分県日出町議会

電話: 73-3135



由布・鶴見を望み快適な汗を流して(第6回ザビエルの道ウォーキング大会)

目次

- 平成22年度決算2
- 常任委員会4
- 一般質問(8人)7
- 行政視察15
- 町民の声16

平成22年度決算

23年度9月定例会

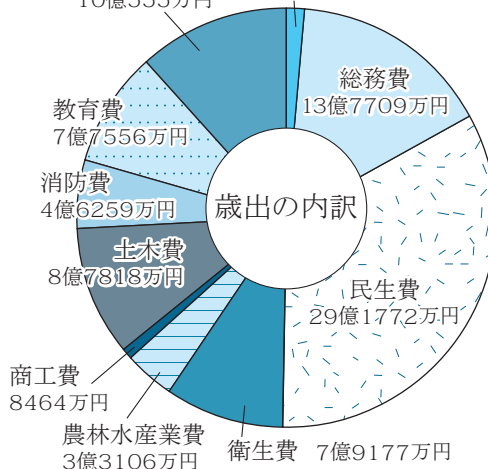
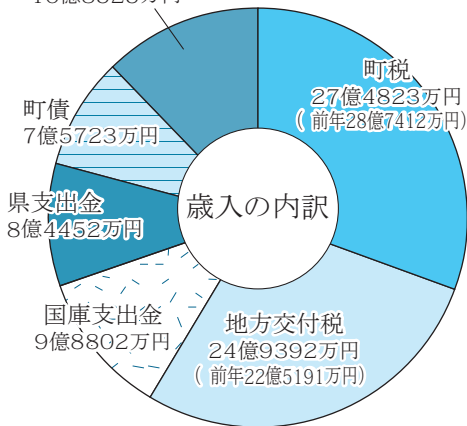
22年度一般会計決算内訳

歳入総額 89億1701万円

歳出総額 87億31万円

譲与税、交付金等その他
10億8525万円

公債費 10億555万円
議会費 1億2760万円



基金(町の預金)の状況

	21年度	22年度
財政調整基金	9億 216万円	10億4590万円
減債基金	4億 484万円	5億1946万円
特定目的の基金		
公共施設整備基金		1億 円
地域福祉推進基金	2億 674万円	2億 726万円
教育振興基金	5998万円	6022万円
その他	5574万円	3722万円
合計	16億2946万円	19億7005万円

町債(町の借入金)の状況

	21年度	22年度
一般会計	90億 602万円	92億 6万円
特別会計	58億 675万円	54億5676万円
合計	148億1277万円	146億5692万円

主要2基金15億円を超え
町債は前年比1億5千万円減

財政調整基金・減債基金は、地方税や国からの交付税などの収入でその年度の支出がまかなえないときの財源調整に充てる町の預金です。3月補正ではそれぞれ5千万円ずつ、また将来における財政負担に対処するため新たに設置された公共施設整備基金に1億円積み立てています。そのため基金の総額は前年度対比約3億4059万円(20.9%)増加しています。町債現在高は、一般会計で1億9413万円増加しているものの、総額では前年対比1億5585万円(△1.1%)の減少となっています。

特別会計歳出決算

	21年度	22年度
国民健康保険	27億4420万円	29億2543万円
簡易水道	1189万円	897万円
公共下水道事業	7億8762万円	8億 514万円
老人保健	2426万円	50万円
漁業集落排水事業	5643万円	3461万円
農業集落排水事業	3535万円	3713万円
介護保険	21億3420万円	21億6255万円
後期高齢者医療	2億3959万円	2億4902万円

国民健康保険会計
1億8千万円増

国民健康保険特別会計は、前年度に比べ1億8千万円増加。これは入院・入院外など各項目とも、件数、費用額とも増加し、保険給付費が10%増加したためです。町は大幅な医療費の伸びを抑制することが最大の命題となっており、議会もたびたび指摘をしていますが、医療費の適正化を図るため、健康指導を柱とした効果的な保健事業を、今後も積極的に進める必要があります。

平成23年度9月定例会が9月1日から26日間にわたり開催され、議案12件、認定2件、報告2件、請願1件、発委2件を審査しました。

水道事業会計決算

経営成績は、総収益3億8288万5715円に対し、総費用は3億3609万3748円で、差し引き4679万1967円(前年比13.23%増)の純利益を計上しています。経営の安全性の尺度となる自己資本構成比率は71.9%で、前年度に比べ2.3ポイント上回っています。経営状態は昨年度に引き続き健全性を保持しているといえます。

9月6、14日に開催された予算委員会では、一般会計 2億280万円、特別会計総額6483万円の補正予算を審査しました。慎重審議の結果、全会一致で全ての補正予算が可決されました。

主な内容

被災地寄付金

町内の団体、個人からの義援金を宮城県亘理町へ寄付。225万円

防災対策

大規模災害時に避難所となる町内各小中学校に備蓄用倉庫を設置し、備蓄物資を常備。1487万円

LED照明

エコ推進のため、庁舎内の照明をLED蛍光灯に移行します。84万円

緊急時医療情報キット

1人暮らしの高齢者や高齢者夫婦が地域で安心して暮らせるよう緊急連絡先やかかりつけ医などの本人情報が分かる情報キットを整備。150万円

子育て支援対策

子育て支援対策として中央公民館中庭を芝生化し、併せて児童室も改修します。464万円

本庁舎1階に授乳ブースを設置。70万円

飲料水供給事業

今畑地区水道組合に対し、ボーリングや配管設備の2分の1を補助。548万円

めがね橋

赤松橋を観光資源として活用するため、駐車場を舗装し整備します。397万円

土木費

道路維持費、道路新設改良費、橋梁維持費、河川改良費を計上。5395万円

住宅改修支援

高齢者や子どもがいる世帯の簡易な耐震改修、バリアフリー改修に対し補助します。510万円

消防費

豊岡新町地区と大石日比の浦地区に防火水槽を設置。730万円
小型消防ポンプ購入。130万円

教育費

アーチェリー場に壁面設置。144万円
黒岩グラウンドに倉庫設置。30万円
成行自治公民館の新築補助。250万円

災害復旧費

6月の大雨により陥没した須崎新田線の法面復旧工事費。280万円

議会改革調査特別委員会

委員会メンバー6名交代

旧委員で構成する特別委員会では、議会の公平・透明性を確保し、町民に開かれた議会、町民の意見を反映させる議会を目指し、議会運営のあり方を検討してきました。

予算委員会・決算特別委員会の設置に続き、議会経費の削減や議会の活性化を議論し、この委員会で決議された一般質問の時間延長、休日議会の開催などは、全員協議会でも全会一致で了承され、実行に移されています。

しかし、議論に議論を重ねた「次期改選の議員定数の2名削減」について全会一致の委員会の決議として全員協議会に諮りました。他議員から「改選まで2年半あるから」と議論すべき。また、「合併論議後、6名という大幅減をしたのだから現状維持でいい。」

「これ以上削減すると町民の声が町政に届かない。」人口が増加している現

状においては、削減を論じるより先に議員の資質向上の施策をもっと諮るべきである。

など、慎重論が出されました。全会一致を原則に12月定例会での提案を予定していた旧特別委員会は、これ以上の審議を断念、「この問題も含め、議会改革の議論を継続するには、メンバーを入れ替え、今まで所属していなかった議員で構成する新たな特別委員会を、今後審議すべき。」という判断に至りました。

最終日、委員長を含め委員6名が辞職した後、直ちに6名が新任され、今後新たな議会改革調査特別委員会で審議することになります。

(森昭人議員は、これまでの議論の流れに熟知した委員が一人は必要ということになって留任となっています。)

旧構成員

委員長 笠置 久夫
副委員長 佐野 故雄
委員 佐藤 克幸
熊谷 健作
森 昭人
田原 忠一
工藤 健次

新構成員

委員長 佐藤 二郎
副委員長 白水 昭義
委員 佐藤 隆信
森 昭人
安部 三郎
藤井 博幸
池田 淳子



議会改革調査特別委員会

常任委員会

総務

議案等の審査結果

日出町税条例などの一部改正

地方税法の一部改正に伴い改正するもので、主に寄附金税額控除の適用引き下げと罰則規定の見直しに伴い所要の改正を行うものです。全会一致で可決しました。

特殊勤務手当支給条例

職員の特種勤務手当の支給対象となる感染症の見直しと用語の整理を行うため改正するもので、全会一致で可決しました。

地方財政の充実強化を求める請願

2012年度地方財政計画、地方交付税拡充、公共サービスに必要な財源確保のための請願。提出者の主張する内容を精査したほうがよいのではないかとという意見が出たため、継続審議としました。

海抜表示板

7～8月で実施した海抜表示板設置箇所調査で、

区から要望のあった場所に海抜表示板を設置することを基本とします。また、区から要望はないが海岸線や河川の沿岸部で、海抜が10m未満で注意喚起が必要と思われる場所は、町が選定し設置をします。委員から「設置にあたり、自治会や自主防災組織で設置はできないか」との意見がありましたが、危険性もあることから町実施するという事です。表示板は縦45cm、横30cmの板（PP板）に、赤色文字で海抜を表

記し、下部に避難所情報、避難方向矢印などを表示します。

財政の健全化

県下市町村財政指標から町の状況を見ると、平均財政力指数は0・619で大分市、別府市に次いで第3位となっています。（指数が1を超えると交付税不交付団体）しかし積立金残高は最下位で、財政運営に余裕がないことを示しています。

第2次行財政改革プラン

これまでの取り組み・進捗状況・今後の取り組みをまとめた「日出町行財政改革プラン進行管理」



効果を期待します（海抜表示板）

の説明を受けました。進捗評価が厳しすぎるのではないかとという意見が出され、また知らない人にも分かるような公表の仕方を要望しています。

閉会中の審査

8月19日開催

避難所整備事業

各小中学校を含む避難所に学校防災倉庫や避難所用資機材を常備します。

また、行政視察先である高浜市の来庁者側に向けた機の配置が市民に対して好評だということであり、町でも改善できないかと指摘しています。

電算システム共同利用へ移行

自治体クラウド（電算システム）の共同利用は、「行政の簡素化・効率化」の中で、既存の情報システムでの運営経費削減、効果的・効果的な情報システムへの見直し、刷新を行うことを目標としています。トップス21（OEC製品）を利用して

産業建設

議案等の審査結果

「第6回ザビエルの道ウォーキング大会」開催

いろいろな施設をうまく絡んだ自然の中の観光ルートを考えたらとの意見があり、今後、ウォーキングルートを町内で25ルート作る予定で、来年の3月に公開。

常任委員会

10月・11月・12月に二の丸館で「まちあかり」が開催されます。

赤松めがね橋と隅櫓を視察

赤松めがね橋の駐車場舗装工事と隅櫓の工事状況の説明を受けた後、2カ所の現地視察を実施しました。

赤松めがね橋駐車場への国道10号からの出入りに関し、交通安全対策に

十分配慮するよう要望しています。

産業廃棄物処理施設

建設が計画されている産廃施設は、水道水源保護条例の観点からも十分協議が必要です。社会厚生委員会と十分連携を密にして議会全体で取り組んでいくことになりました。

農業者アンケート

町内の認定農業者90世帯のうち、跡継ぎのいない農業者へのアンケート調査と耕作放棄地調査を行い後継者問題に取り組みます。

東九州自動車道を平成26年度までに開通させるように求める意見書

東九州自動車道は、沿線住民の生活のあらゆる面において最低限必要な社会基盤であるとともに、その早期完成は、県の産業構想実現に不可欠であり、本町にとっても多大な影響を受けるものです。また、東南海、南海地震が発生した場合には甚大な被害が懸念される東九州地域にとつて、大津波の影響を受けない基幹ネットワークとしての整備も急がれます。

一方、本年3月に九州新幹線鹿児島ルートが全線開通したことで、九州における東西格差はますます拡大しています。したがって、九州を循

環するネットワークの構築に向け、東九州自動車道の北九州～大分～宮崎間全線を26年度までに開通させるよう強く要望し、国に、意見書を提出するものです。

閉会中の審査

8月2日開催

団体旅行誘致

平成23年度団体旅行誘致緊急対策は、九州新幹線対策の一環で町内観光産業の推進と観光客の増加を図るため旅行エージェンツなどが取り扱う観光バスを用いた旅行に、県と共に支援を行います。

畜産共励会

今年度、会場が豊岡家畜市場から豊後北部家畜市場に変更になったため、1頭あたりの手当てが6000円から8000円に、振興補助金も若干の増額をします。

安心住まい改修支援

高齢者の暮らしの安全

確保や子育て世代の住環境の向上を図るため、地域の中小建設事業者の受注機会の拡大を目的とし、県と町が合同で町内の高齢者世帯や子育て世代が行う持ち家の改修工事に補助します。

鳴谷駅

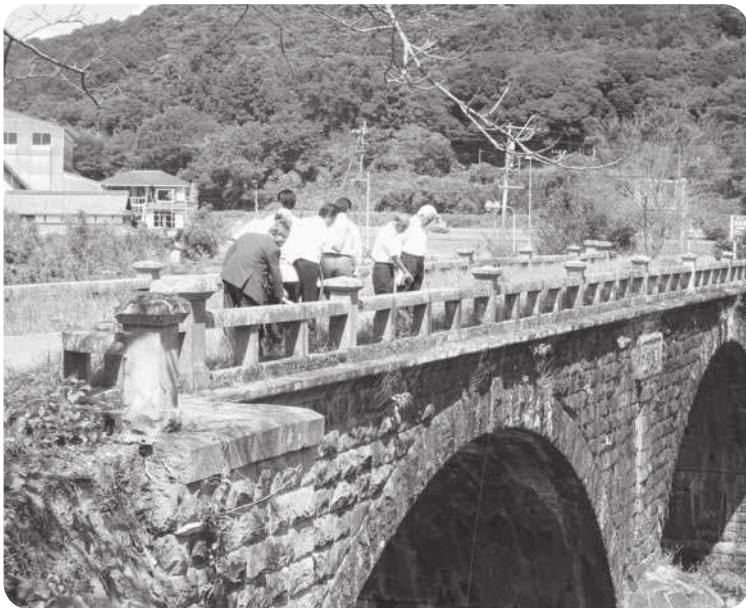
駅舎、自由通路、駅前広場は7月29日に基本計画の委託業者が決定し、今後JRと協議していきます。

農業委員の改選

任期満了に伴う改選が行われ、14名が選出され会長に松田勲氏、副会長に渡辺康正氏が決定しました。

浄化センター視察

併用開始区域内の人口増加で、処理水量は年々増大しています。施設の能力を増強して安定的な水質確保を目指し、策定している長寿命化計画に準じ更新を行い必要ならば耐震工事を行っていきます。



危険箇所を調査（赤松めがね橋）

常任委員会

社会厚生

議案等の審査結果

大神中学校教育用
コンピュータ一式の購入

14年度に購入したコンピュータおよび周辺機器の更新のため。

コンピュータは教員用を含め35台、サーバー1台、その他授業支援システムソフトウェアなどで1019万円を審査し全員一致で可決しました。

子ども手当

対象の子どもを持つ全ての方は申請が必要です。また、保育料を町の判断で差し引くことが可能となりました。

介護保険事業

改定時期にあたり策定委員会が開催されるが、委員会構成で半分以上が施設関係者であることに
対し疑問がなされた。

放射線測定

町内6カ所（黒岩グラウンド、三川公園、安養寺グラウンド、糸ヶ浜海浜公園、県外土搬入埋立地、平原グラウンド横公園）を調査し、放射線測定の結果は、地上1cmの平均値が1時間あたり0.051〜0.083マイクロシーベルトでした。（国の基準値、平常時年間1000マイクロシーベルト以下）

産業廃棄物処理施設計画

当初、廃石膏ボードの破砕施設と報告を受けたが、県への事前協議書の内容には説明と違う各種処理の概要が提示されました。町の水資源保護地域であり、施設の建設はとうてい容認できないと指摘しました。

閉会中の審査

7月13日・8月23日開催

学校巡視

大神、川崎、藤原、豊



新築した豊岡小学校を視察

子宮頸がん予防接種

中1〜高2の女子が対象でワクチン不足のため接種を差し控えていたが、6月10日から順次再開。

緊急医療情報キット

一人暮らしの高齢者および、高齢者世帯（65歳以上）並びに要援護者世帯を対象に配布します。約3000世帯の予算を組んでいます。

訪問事業

新規単年度事業として、主任児童委員訪問促進事業を始めます。内容は乳幼児健康診査の未受診者で保育園、幼稚園に行っていない児童の家庭を訪問し、家庭の不安や悩みを受け止め適切な支援サービス（児童虐待などの防止に努める）につなげます。

的山荘

県の有形文化財への申請が遅れていることについて厳しく指摘しました。

ふじわら放課後 児童クラブを開所

P.T.Aが主体となって7月23日から開所、現在17名が在籍

岡、日出の各小学校を巡視し、各学校で掲げる学校経営の重点項目や具体的な目標の説明を受け、授業を参観。校長から直面している事項、要望を聞きました。特に川崎小学校は現在行われている耐震化工事に併せ、不具合や老朽化し崩落しかけた場所を早急に改善、修復するよう求めました。藤原小学校では要望のあつ

た外トイレ洋式化や図書館にエアコンの整備を早急にすることを指示しました。今後、南端小・中学校と大神、日出中学校の巡視を予定しています。

一般質問

Q&A ここが知りたい

防災マップの見直しを

すでに 進めています



後藤 佑議員
(藤原地区)

問

答

問 想定外の地震、津波そして原発事故と東日本を襲った大震災、政府や地方自治体も復旧、復興、原発の終息、そして防災と抜本的に始動を始めたようですが町も防災マップ見直しを検討しますか。
日出町も危険箇所が多くあると思いますが、現在のマップには、作成年月日が記されていません。改正時点で検討をお願いします。

総務課長

日出町地域防災計画の見直しを進めています。防災マップも十分なものでないことが明らかになったので、この見直しを行う予定です。ポイントは、地震、津波の想定引き上げです。東南海、南海地震と東海地震の連動や、日向灘への震源の拡大を考慮して、また、県の有識者会議の提言をうけ、「大分県津波浸水予測調査」の2倍の高さを想定し、避難訓練などでは3倍の高さを想定しています。町でも、県のデータに基づき防災マップの見直しを進めたいと考えていますが、国の中央防災会議が、津波に関するデータを、この秋に公表するので、注視したいと考えています。

ケーブルTVの活用を

問

防災の初期対応にはケーブルTVの活用ができませんか。

総務課長

町は、CTBメディアが入っていますが、町内全域にはまだ行き渡っていないので何らかの働き掛けを行っていきます。防災無線は、順次町内全域に、整備していきます。

節電対策は

問

節電が問われていますが、何か対応していますか。

財政課長

町では、旧庁舎に太陽光パネル96枚を設置し22年度では、2万3500KWを発電しました。小田城浄水場に太陽光発電システムを設置していますし、建設中の豊岡小学校にも設置をします。

旧館1階に、グリーンカーテンを設置、新館の窓ガラスの内側から透明な遮断熱材をコーティングすることによりグリーンカーテン同様、冷房機器などの節電対策を行っています。これは、太陽からの赤外線を30%カットする



太陽光発電システム（小田城浄水場）

自然エネルギーの導入

問

自然エネルギー

ことにより、外気温に比べ室内温度を約2度下げ、効果があり、15%程度の冷房費を削減できる見込みです。すべての関係箇所LED蛍光灯を活用し節電に努めます。節電意識の啓発を図り昼休みや夕方5時以降の消灯を始め、トイレなどの節電に努めています。

町長

現在もいろいろの導入を考えていますか。と対策を講じていますが、商店街の街路灯問題など、まだまだ多くの課題がありますので、趣旨を十分踏まえて今後、対応をしていきたいと思っています。

質問を終えて

できることから始めて町民のために頑張ってもらいたい。

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 今後原子力発電所から撤退すべきだと考えていますか

答 完全撤廃するのは課題が残ります

問 東日本大地震で多くの国民が、何もかも失ってしまった。特に福島の第一原子力発電所の事故は、日本だけではなく世界を驚かせました。日本の原子力発電は安全神話に陥った結果、放射能物質が外部に放出され、自分たちの住む町さえ無くなってしまいました。このような危険な原子力発電所を今後段階的に撤退すべきだと考えているでしょうか。

町長 原子力発電から早急に完全撤廃することは課題が残るのではないかと考えています。結論としては「原発依存」から脱することによってよいのではないかと考えています。

問 原発は安全を考へながら続けるべきだと思いますか。

町長 新たに原発を作ることは困難、寿命がきたものは更新せずに廃炉として、定期検査などで停止中の原発は再稼働させることが妥当だと思っております。

問 町として太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーに取り組む考えはありますか。

町長 町の中では再生エネルギーの取り組みは第四次の総合計画に基づき、対策を講じています。自然エネルギーに向けて努力をしていきたいと思っております。

問 風力発電や太陽光などを設置しようと申し出があつた時、個人の家や企業などに支援をする気がありますか。

町長 内部で検討させていますので、新年度は何らかの形で町としての姿勢が出せるように取り組んでいきます。



建て替えの時期にきた給食センター

問 組んでいきます。山口県の上関、愛媛県の伊方発電所に対して建設反対や運転再開に反対する考えはありますか。

町長 県の執行する方向、あるいは指導に基づいて町として対処します。

給食センターの建て替えは

問 何年頃までに建て替えますか。場所は、現地に建てますか。また

は、新しい建設場所を探しますか。

教育長 教育委員会としての原案はできています。詳細を検討してすぐにも検討委員会を立ち上げて進めたいと考えています。

県外の土砂の埋め立て

問 1日にどれくらい土砂が来ますか。毎日ではなく3日に一度、1回

質問を終えて
原発に対する町長の考えはあいまい。少なくとも上関や伊方の運転再開には反対を。

問 1日に運送するトラックの台数は。トラックの台数が5台で20回運ぶので100回運送となります。

問 土砂の検査はどういう方法で行っていますか。

生活環境課長 土砂5千mごとに行い、7隻に1回です。

問 安全基準適合証明書の調査を。土砂の出所の調査と検査は一隻ずつ放射能も含めて行うように。

生活環境課長 県に要望したいと思っています。

問 町道の破損、周辺住宅へのホコリ対策などはどうしますか。

生活環境課長 町の条例では業者の責任で補修、ホコリなどは地元区長さんなどの意向を聞いて対処します。

一般質問

Q&A ここが知りたい



工藤 健次 議員
(大神地区)

問 行政サービスの改善を

答 鋭意検討させていただきたい

問 第2次行財政改革プランで「住民ニーズや地域の課題を的確に把握し、住民の視点に立ち、より一層の迅速なサービス提供が図れるような行政運営を目指します」と掲げており、窓口サービスの土・日にしてほしいとの要望がありますが町長の考えは。

政策推進課長

行財政

改革の中で、現在窓口業務の見直しを行っている



改善が望まれる窓口サービス

ところで、例えば証明書以外の窓口サービスの取り扱い内容の拡大、平日窓口サービスの時間延長、住民の皆さんが一カ所で用事が済まされる住民サービス総合窓口の設置などいろいろあります。

考えられる窓口サービスの中で何が住民ニーズに一番かなっているのか、組織体制などを考慮し窓口業務担当課と検討していきます。

問

税の納付場所を、

郵便局やコンビニでできませんか。

税務課長

現在、基幹

システム委託は8市町村で実施され、納税通知書などの様式統一も検討されています。25年4月までは、郵便局での窓口納付ができるようになりますと考えています。コンビニ納付は、収納率の向上につながることから検討しましたが、初期投資に多大な費用がかかるなど課題が多く、引き続き

調査研究します。

問

窓口業務の職員の席を、銀行方式のように対面にできませんか。

政策推進課長

1階の

窓口サービスは、早急にこういう形がよいか検討していきます。

町長

窓口事務の改善

は相応進めてきました。内部で詰めて検討していますが、結論に至っていません。今後とも鋭意検討させていただきます。

シルバー人材センターの体制改善

問

事務局の体制を、繁忙期に2から3人体制にできませんか。

商工観光課長

本年4

月の発足時より事務局長1名・事務局員1名の2名体制で運営を行っており、順調に推移しています。7月は、受注件数1

37件・契約金額239万円、目標件数の46%、金額目標の51%となり、この1カ月に集中し繁忙を極めた訳で、来年度は事務局の忙しさを解消と

待遇の改善に努めます。

観光資源と地域振興

問

観光資源と地域振興・自然保護の町長の考えを。

町長

温暖な気候、お

いしい水、交通の利便性、別府湾を望む絶好の景観、城下町の風情を今に残す町であり、自然の優しい環境の中に育まれた歴史文化、自然が町の貴重な観光資源であり、財産であると考えています。

自然を保護し、歴史的な町並みを保全し、豊かな自然、歴史、文化を大切にし、観光資源として最大限活用・保全・整備することが、今後の町づくりの基本になると考えています。

質問を終えて

住民ニーズを早くつかみ迅速な改善を。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 中学校部活動の遠征費を補助せよ

答 十分検討させていただきます



森 昭人 議員
(日出地区)

問 一昨年と今年、県内の高校野球部員の送迎中に不幸な事故が起きました。このことは高校校だけ、あるいは県教委だけの問題ではないと考えます。町の中学校の部活動が、町外で開催される大会、練習試合、合同練習会などに参加する場合、金銭面も含め生徒の送迎の現状はどうなっていますか。

学校教育課長

公共交

通機関の利用が原則となっていますが、現実として会場までの公共交通機関がなかったり、試合時間に間に合わなかったりなどの理由から、主に保護者の自家用車に生徒を同乗させて輸送しています。また、保護者の自家用車にかかるガソリン代などの経費もほとんど支払われないのが実情です。

問 部活動をより活発に、また生徒の安全を確保するため、そして保



日出中学校部活動

護者の負担を軽減するために、部活動遠征費（大会参加費、交通費、宿泊費）の補助を充実させるべき。

教育長

保護者の方々の好意に甘えているのが現状ですが、万が一事故が起こった時の責任の所在などの問題も踏まえ、対応策ができていないので、今後検討していかなくてはならないと考えています。

問

行財政改革によ

り全国九州大会出場費、各種出場費、運動会費補助金など大幅な減額のままとなっています。行革は一定の成果をあげ、基金も大幅な増加を遂げている現在、子どもたちのための予算復活や配分ができませんか。

町長

一般の補助や助成をかなり減額して財政の健全化に向け今日まで来ましたが、行き過ぎているところがあり、ソフト面の問題は、まだ十分目が届いていないと認識しました。極めて重要事項であると考え、十分検討させていただきます。

副教材費の補助

問

副教材購入費、テスト、ドリル代、副読本代など部活動関係費の他にも保護者の負担が多い。給食費やPTAの費用は別にしても、保護者負担の軽減のため、子育て支援として学習にかかる費用は少しでも町が補助すべきと考えますが。

教育長

今日の社会状況を考えたときに、保護

者負担の軽減を図ることは行政にとつて大事なことでと思います。来年度当初予算に何らかの形で反映させる方向に向け、検討作業も進めていきたいと思います。

**大型複合遊具を
設置せよ**

問

現存の町の公園では、親子で1日遊ぶことができませぬ。新たに公園を設置することは無理ですが、小さな子どもが保護者と一緒に十分楽しめる、町の顔となるような大型の複合遊具を設置できませんか。

都市建設課長

早速様々な事例案件を収集し、積極的に取り組んでいきたいと考えます。かなりの費用が必要になりますが、小さな子どもから若者、高齢者の方々までが一同に集えるような公園の実現に向け、最大限努力していきたいと思えます。

質問を終えて

子育て支援の強行は、日出町の成長に最も必要である。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 高校跡地の
残された部分の
利用予定は

答 複合総合施設を
誘致します



藤井 博幸 議員
(日出地区)

問

6月定例会で商業施設の候補があり、検討中であれば、陽谷駅前や駅の移設との関連付けができなかったか。

また、自由通路入口のコミュニケーション施設などの基本計画ができたなら、公聴会など近隣住民の意見も聞いてほしい。設計ができてからの変更は大変な変更料が発生します。昨年度も大事業で1件約

300万円の変更料が発生しているので検討をすべきでは。

商工観光課長

企業は、

駅前整備（駅前広場や自由通路）ができ、新しい顔が決まれば、整備動向を見て進出の判断をするとのこと。駅前整備は隣接しているJRとの協議が不可欠であり、事業提案内容の検討と募集時期を判断し、時期が来たら情報公開に努めます。

問

見栄えのある市街地空間、歴史的町並みを町の顔としてシンボル空間にするとのことですが、具体的にどこを指しますか。

都市建設課長

見栄え

のある市街地空間とはJR陽谷駅を中心に高校跡地を取り込み、10号線から役場前の日出中央線に挟まれた約25haがエリアです。歴史的町並み区域は日出城址を中心に鷹匠町付近から二の丸、三の丸、髪刺町から南浜、北浜の一部約26haを計画区域としています。また、

区域内での町並み形成を図るうえで文化財の復元、道路の美装化事業を予定しています。

民間への補助は

問

陽谷城周辺整備が終わりに、歴史的町並みの再生が進んでいます。外観が近代的なものになっているところもあります。が今後の対応は。

都市建設課長

陽谷城

周辺景観保全条例を平成22年施行し、地域内の看板、塀その他を規制しています。改築などの変更をする場合、景観を保全形成して後世に継承するため、住民の方に意向を伝えながら、助成制度を活用して陽谷城周辺の歴史的町並みが完成に近づくと努力します。

陽谷城周辺整備、
町民の反応は

問

文化財アドバイザー（熊本大学名誉教授）の講演会では、昔あった

都市建設課長

地域ポ

ランティア団体への提案募集や地域での懇談会を行い現在の形態に。昔は豊岡団地上の池から八日市を通り、日出城址に豊

ものを大事にし、景観を整備してと、理解しました。整備されている日出小学校前の水路はどう考えるのか。

質問を終えて

住民の意見が十分反映されたまちづくりを。



検討が求められる日出小前の水路

一般質問

Q&A ここが知りたい

豊岡小学校に 児童クラブを

24年度中の開設に 向けて努力します



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問

現在、豊岡小学校区だけ放課後児童クラブがありません。藤原小学校にはこの程、熱意ある保護者の働きかけによって放課後児童クラブが設立されました。豊岡小学校にも早急に設立してほしいと思えますが町としての見解を伺います。

福祉対策課長 平成22年3月に策定した日出町次世代育成支援後期行動計画の中の目標数値で放

答

課後児童クラブを21年度の3カ所から26年度までに5カ所と目標を掲げています。この目標を達成するためにも、藤原に続き豊岡小学校区も放課後児童クラブを設置したいと考えています。具体的に、24年度には豊岡小学校の余裕教室を放課後児童クラブの専用教室に改修し、運営は藤原小学校と同様に保護者を中心とした地域の方々で運営委員会を組織していただき、運営をお願いしたいと考えています。24年度中の開設に向けて努力したいと思えます。

問 万が一、保護者や地域の方々の協力が得られずに藤原小学校と同じ運営方法ができなかった場合、他の案はありますか。

福祉対策課長 県下で約227の児童クラブがあり、PTAだけの方式や社会福祉法人などの運営方法と異なるものがありますが、ほとんどが運営委員会と同じような方式で行っているようなので

福祉対策課長

県下で

被災者支援 システムの導入は

システムの導入は

豊岡も藤原と同じような方式で行っていただきたいと思えます。

問 阪神・淡路大震災の経験を生かして西宮市の職員が開発した被災者支援システムを導入する計画はありますか。

総務課長 緊急物資や仮設住宅の入退去などの



活躍するボランティア（豊岡地区放課後子ども教室）

た効果が出ていたと聞いています。災害が起きる前の平素から導入し、整備しておくことで被災時に必要な業務が迅速かつ効果的に実施可能であるとともに、ソフトは無償で提供されることになっているので、今後詳しく調査します。

問

基幹系システムの導入が今議会で補正予算にあがっていますが、この被災者支援システムを合理的に役立てられますか。

財政課長

基本的には新しくなってもこのシステムは対応できると思います。

町長

震災後導入する自治体が約5割程度増えていると聞いており、私も非常に有効な一つの方式だと思えますので、できるだけ実現に向けて努力させていただきたいと思えます。

質問を終えて

子育て支援も防災も
早急な対応を。

一般質問

Q&A ここが知りたい



問 場谷駅自由通路の建設費は

答 2億4千万円です

熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問 その財源は。

都市建設課長 50%が国交省からの交付金、残額の90%が起債です。

問 起債の交付税措置は。

財政課長 交付税措置します。75%を交付税の基準財政事業の中に入れます。

問 今後のスケジュールと予想利用者数は。

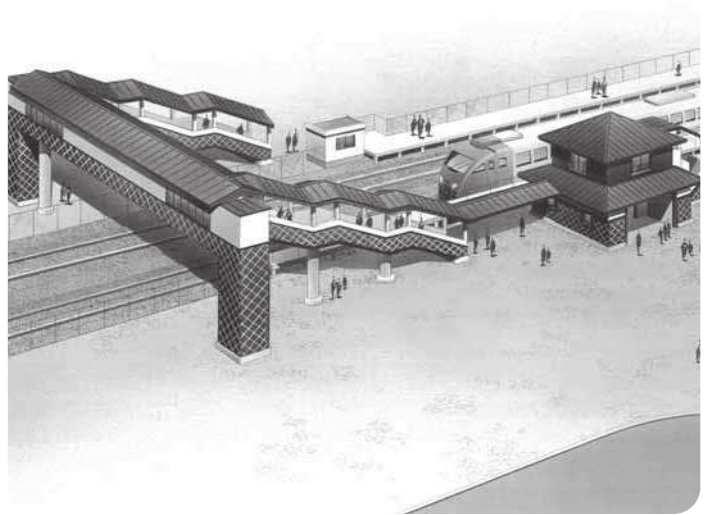
都市建設課長 今年度から設計に入り、25年に

着工します。予想利用者は調査中で、一日の乗降者数は1646人です。

問 自由通路の位置と周辺の駐車場、バリアフリーの整備は。

都市建設課長 踏切から50、60m東で、周辺整備は990㎡の駐車場を計画、高齢者や子どもが利用しやすいよう整備します。

問 リフトやスロープの方法は検討しましたか。



自由通路

都市建設課長 JRとの協議で難しいという結論です。

問 自由通路を作る目的は。私も、車イスで電車を利用する不便さは理解しているつもりですが、多額の費用をかけることに、町民の理解は得られますか。

町長 障がい者団体や、ホンダ太陽の強い要望があったことと、旧市街と新市街の結節点として、南北の交流を図るもので

す。今後は、町民の意見を聞きながら、規定の方針で進めていきます。

電算の委託料

問 電算関係の保守点検の委託料が年々増加している点を、かねてから指摘していました。今回県内8市町村が参加してクラウドを利用するということですが、それによつて予算がいくら削減されますか。

財政課長 5年間で1368万円削減されます。

問 システム障害やカスタマイズ(独自仕様)の問題は。

財政課長 事業を統一して支障の無いよう検討します。

問 プログラムに精通した有資格者を職員として採用する時期では。せめてホームページのリニューアルくらいは自前でしては。

財政課長 現在、情報処理技術者を1名非常勤で採用しています。これ以上は、コストの面で難

しいです。

町長 職員の技術能力を研修などで上げる努力をし、採用も検討します。

イノシシ対策

問 町内のイノシシによる被害額と対応する職員の数は。

農林水産課長 21年度が780万円、22年度は720万円です。3名の職員と4名の非常勤職員で対応しています。

問 昨年視察した唐津市では、鳥獣害対策室を設けています。当町でも専従のイノシシ対策係を新設するべきでは。

農林水産課長 現在、箱穴や電気柵、緊急雇用対策の職員を配置することで、100頭近く捕獲しています。今後も十分な職員配置をします。

質問を終えて

新規大型事業には町民のコンセンサス(合意)が必要です。きめこまかな説明を。

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 二郎 議員
(大神地区)

問 町長のこれまでと今後の重点施策は

答 スリムな行政とさらなる発展を目指します

問 町長に就任当初に掲げた主要施策の確りと、その後の町長の重点施策はどのようなものなのか伺います。

町長 人と自然の調和したふれあいと活力ある町づくりをテーマに、自立の町政を目指し、財政の健全化に努め、事務事業の見直し、スリムで効果的な町政を推進してきました。その後は、当初の方針・方向を踏襲しながら、施策のさらなる推

進や中心市街地の活性化対策など、将来を展望した新たな取り組みにも挑戦しています。

問 町長就任時の政策、財政改革、事務事業の見直し、職員の削減などに取り組んできた重点施策の達成度はどれくらいですか。

町長 財政の健全化、組織改革は一定の目標を達成できたのではないかと思います。また職員の意識改革は、まだまだ道半ばという状況にあると考えています。

問 町の総合計画の「豊岡運動公園」事業休止となつていますが、これまで国の補助金と多くの一般財源が投入されています。今後どのように考えていますか。

町長 休止すると国庫補助関係事業の補助金返納問題が生じます。この補助金の返納が起らない形で、せつかくやつている状況なので、今後ともどうすべきか検討していきます。

都市建設課長 具体的には25年度まで休止し、その中で町民の方々の意見も聞き、内部でも検討



新たな課題に取り組む執行部

を進めて、あるべき姿を求めていきます。

問 町監査委員より22年度の決算審査報告で景気の低迷による税収の減、財政の厳しい状況を指摘されていますが、現在の財政状況、さらに今後の見通しはどうですか。

町長 自主財源比率は減少し、地方交付税や緊急経済対策などの国庫財源に支えられている依存構造が進んでいると考えます。基金の積み増しや地方債の減少など明るい兆しはあるものの、今後とも財源を必要とする事業が目白押しですので、引き続き厳しい財政運営になると思っています。

問 「財政の健全化のため、プライマリバランスを守る」と唱えています。

きましたがいかがですか。

町長 今後はプライマリバランスの均衡はやや欠けるだろうと考えますが、若干のバランスは壊れても先行投資をして、後に備えて町の力を蓄える必要があると思っております。大きい事業があっても無理をしなければ、また着実に進めていけば十分対処できると思っています。

問 町が抱えている課題、問題点はどんなものがありますか。

町長 少子高齢化の中で、社会福祉関係の経費の増大や公共施設建設の問題などを考えるとやはり、企業誘致などを含めて財源の確保をしっかりとやっていかなければならないということ。財政基盤をしっかりと築き、恵まれた資源を活かしてまちづくりを行い、多くの人に「選択される町」にならないと考えると

質問を終えて

「住んでよかった」「住みたくなる町」になるよう取り組まれることを期待します。

産廃施設の設置反対を スピード決議

日出町議会は、日出町大字豊岡若山に設置が計画されている産業廃棄物処理施設について、同地域は、町の上水道の水源地域にあつて、多大な悪影響をおよぼすことが懸念され、町の水源流域の良好な自然環境の確保が保障されるのか極めて難しいといわざるを得ないと判断した。したがつて設置に反対する意思を全会一致で示す決議をしました。

休日議会開催しました

9月3日(土)、4日(日)に議会改革の一環として、日出町議会では初となる休日議会を開催しました。初日は議案質疑と一般質問4名、2日目にも一般質問4名が白熱した議論を展開しています。今後も開かれた、身近な議会を目指し、新しいことに取り組んでいきます。

行政視察

総務 常任委員会

日時

23年7月13日～15日

研修先

愛知県豊橋市
愛知県高浜市総合サー
ビス株式会社

参加者

委員長 佐野 故雄
副委員長 田原 忠一
委員 佐藤 二郎
委員 池田 淳子
委員 城 美津夫
政策推進課長 越智 好
議会事務局長 名部 憲文



高浜市での行政視察・調査

研修目的

世界的金融不安や景気の低迷など税収が減少、歳出では、社会保障費の増大、学校施設の建て替えや耐震化などの大型事業の実施で、財政的に非常に厳しい状況が今後予測されます。

このような状況から、町の将来を担う重要な課題である、行財政改革の先進地の研修を行いました。

豊橋市

「事務事業評価」では、妥当性・有効性・効率性の視点から、事業の目的や内容を点検し、目標指数や単位コストなどの分析により、事業の成果などを評価し、市民サービスの向上、業務の効率化を進めていく評価を行っています。また政策指標や施策指標の進捗状況を把握する中で、施策の達成度や政策への貢献度などの評価を行っています。そして、実施計画や中期財政計画とも連動させながら、次年度の予算編成に取り組みようになっています。

高浜市総合サービス株式会社
前市長の改革により、

「民間でもやれる仕事はないか」ということで、技能労務職の仕事を委託しています。主な受託事業は、公共施設維持管理、給食サービス、市役所窓口業務、公用車運転、清掃サービスです。特筆すべき点は、福祉に関連するサービスは一切行っておらず、市のOBも採用していません。また、役員はすべて無報酬化をしています。

研修を終えて

両市とも自立のための地域経営を真剣に行っており、自立するための計画と方策と行動とがきちつとかみ合っていることに学ぶべき点が非常に多かったですと思います。

行財政改革には、住民起点と使命中心の行政経営が求められていることを改めて認識できました。日出町は合併せず自立してやつていく道を選択した上でも、行財政経営改革は、常に念頭におきつつ未来を見据えて行つていかなければならないことであると強く感じました。

町民の声

未来につながる

子ども達の声

豊岡地区

神鳥夕子



海を見下ろす眺望が気に入る、日出町に移り住み、もうすぐ7年になります。4人の子どもに恵まれ、子育て奮闘中の私が、「町民の声」として発言できる機会をいただき、ありがたく思っています。

先日、長男が12歳の誕生日を迎え、私も、もう12年母親をがんばってきたのだという、ちよつとした誇りを持って、前向きに自分と向き合うようになりました。子どもたちの声にも耳を傾け、衝突しながらも、交わり合ってきたつもりです。

以前、別府市の大型ショッピングセンターで、介護ヘルパーの実習をしているのを見かけたことがあります。目隠しをして店内を杖について歩く役の人と、それをサポートし、体を支えながら、一緒に店内を歩く役の人。体の不自由さを感じながら、相手の気持ちになつて考えることが、実習の目的だったのでしょいか。同じように、町政においても、大人だけでなく、子ども達の声にも耳を傾けてほしいと私は思っています。

豊岡小学校の第一期新校舎が完成し、保護者も子ども達も、すばらしい校舎に心躍らせ、希望に満ちあふれている反面、低学年用のプールが新設されなかったことに落胆する声もあります。

低学年用に、通常のプールの水を抜き水位を下げ、水泳の授業を行った場合、うつぶせで体を浮かせ、プールサイドに掴まつて顔を水につけたり、息つぎの練習をすることができません。深いプールで水位を下げただけでは、低学年の水泳の指導が限られてしまうというのを、子どもと話をしたり、実際に水泳の授業を見て、初めて知りました。

今、子育て世代を支えて様々なサポートが、日出町でも行われていますが、私達子育て世代の声、子ども達の声は、届いているでしょうか。

子ども達が成長し、進学や就職で日出町を離れてたとしても、自分の子どももこの日出町で育てたいと思えるような町であつてほしいと思います。

議員ソフト大敗

9月10日に県民体育大会公開競技議員ソフトボール大会に参加しましたが、健闘むなしく敗退しました。

来年一回戦突破を目指してがんばります。ご期待ください。

対戦成績

一回戦 2 対 9 佐伯

議会の今後の予定

12月 6日(火) 定例会(初日) 議会運営委員会

8日(木) 定例会 (議案質疑・一般質問)

9日(金) 常任委員会(予算)

12日(月) 常任委員会(予算)

13日(火)～14日(水) 常任委員会

15日(木) 常任委員会(予算)

議会報委員会

議会改革調査特別委員会

議会運営委員会

20日(火) 定例会(最終日)

編集委員長 森 昭人

副委員長 池田 淳子

委員 熊谷 健作

委員 田原 忠一

編集後記

真獄城は今、城山と慕われている。この山は15年前はパラグライダーが飛んでいた。私はこの山が大好きで、先日大分合同新聞記者と車で登った。

記者曰く「こんな身近な所に国東半島、四国、大分・日出町内が一望出来る所は無い。日出町はもつとPRしづらい」と云われ、観光課、観光協会に依頼し、ウオーキングコースを作った。

また、この山を愛し、6年間現在も奉仕活動をしている団地南区の西田信弥さん(86歳)に感謝感謝。

(田原 忠一)

委員 藤井 博幸

委員 工藤 健次

委員 森 昭人

委員 池田 淳子

委員 熊谷 健作

委員 田原 忠一

委員 藤井 博幸